



真菌医学研究センター Monthly セミナー

平成27年2月17日(火) 10:30~11:30
千葉大学真菌医学研究センター 大会議室

セグメント細菌による腸管免疫制御機構の解明

後藤 義幸 博士

Columbia University Medical Center, Department of Microbiology and Immunology・特別研究員

東京大学医科学研究所 国際粘膜ワクチン開発研究センター 特任准教授

セグメント細菌は腸管上皮細胞層に生息する代表的な腸内細菌である。これまでに、セグメント細菌は腸管Th17細胞の分化に代表される宿主の腸管免疫機構の構築に深く関与することが報告されているものの、その詳細は明らかとなっていない。本セミナーでは、セグメント細菌による腸管Th17細胞の誘導機構ならび腸管上皮細胞のフコース付加（フコシル化）の誘導機構について最新の知見を交えながら紹介し、腸内細菌と腸管免疫細胞の相互作用と病原性細菌感染に対する防御基盤の形成について議論したい。

世話人：笹川千尋（千葉大学真菌医学研究センター長・東京大学名誉教授）
知花博治（千葉大学真菌医学研究センター病原機能分野）

連絡先：知花博治（Tel: 043-226-2792, E-mail: chibana@faculty.chiba-u.jp）